JACDS

多様性をテーマにJAPANドラッグストアショーを開催

3日間で66・4％増の9万7944人が来場

日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）は8月30日から3日間、東京ビッグサイトで第24回JAPANドラッグストアショー（佐藤文則実行委員長、よどや社長）を開催した。

今回、SDGs、女性の活躍、リスキリングなど個々人の生き方や働き方が多様化していることに着目し、「これからの多様性のある社会に向けたドラッグストアの挑戦～自分にあったセルフメディケーションを探して～」をテーマに掲げた。

出展規模は385社1280小間で、昨年に続いてフェムケアゾーン、食と健康ゾーンのテーマブースを設けた。ヘルスケア、ビューティケア、ホームケアを中心としたゾーン別のくくりで出展者がトレンド商品をアピールし、最新情報を発信した。

主催者サイドは業界の課題や今後の取り組みを紹介したほか、出展商品の注目度を高める施策や来場者にセルフメディケーションを効果的に推進するイベントを実施した。

オープニングセレモニーで佐藤実行委員長は、今回のテーマである多様性のある社会のひとつでLGBTQに触れ、「LGBTQの当事者の男性から、現状の売場では化粧品が購入しにくいという悩みを聞き、そうした面からもドラッグストアの価値観の転換をサポートし、多様性のある社会の実現に貢献したい」と語った。

佐藤実行委員長

主催者ブースではJACDSの学術・調査研究委員会、社会貢献活動、SDGs推進委員会、医薬品登録販売者の委員会活動を紹介した。併せて、健活ステーション推進委員会が野菜摂取、疲労ストレスなど、測定機器を使ったセルフチェック体験や、管理栄養士による食と健康に関わる相談を受け付けた。

会期中3日間のスタート（30日）は商談のためのビジネスデーで、31日、1日を一般公開日とした。ビジネスデーは来場者数が安定しているが、一般公開日の底上げでSNSを活用した情報発信を強化した。

「一昨年のSNSによる来場者は全体の7・1％だったが、昨年は21・4％となった。時代の流れで情報ツールが変わり週末でもあり、一般公開日の来場者が前年を大幅に上回った。3日間累計の来場者数は前年比3万9072人増（66・4％増）の9万7944人となった。

今回、インフルエンサーの方々に来場の告知をお願いした」（佐藤実行委員長）

会期中、台風の通過が懸念されたが、大きな影響はなく、夏休み最後の

ポーラ

イオンモール旭川駅前店にコーナーをオープン

ポーラは10月25日、株式会社くどう（本社＝北海道旭川市、工藤光生社長）が運営する化粧品専門店「COSME910 イオンモール旭川駅前店」に、ポーラコーナーをオープンする。ポーラの化粧品専門店への出店は7店目となる。

新たなOMO戦略としては、安心と信頼を届け、健やかで美しくいることを目指すコスメショップ。COSME910の、顧客の理想や願いを叶えるために、知識や技術を磨くだけでなく心に触れる活動を重視している姿勢に共感し、新たな顧客接点としての出店先に決定した。

出店概要／住所＝〒070－0030 北海道旭川市宮下通7丁目 イオンモール旭川駅前2F ▽TEL＝0166－22－8726▽営業時間＝9時～21時▽定休日＝年中無休

The Voice

成分安定性に優れ、多様な製品設計が可能なマイクロニードルODMに強み

RAPHAS JAPAN（ラパスジャパン）代表取締役・CEO　権 有利 氏

ラパスジャパンは、ドラッグデリバリーシステム（DDS）の一種で、医薬品や医療機器、化粧品などで幅広く活用される「溶解性マイクロニードル」の研究開発・製造販売を手がけている。

同社では、「頻繁に注射を使う患者の痛みを軽減したい」「インフラが不足し冷蔵輸送できない国や地域に医薬品を届けたい」「医療廃棄物に苦しむ人々のために医療廃棄物が出ないシステムを開発したい」という強い思いから、独自のDEN製法によって「溶解性マイクロニードル」を開発した経緯がある。

DEN製法は熱やUVを使用しない常温製造のため、有効成分の安定性が高いといったメリットがある。同製法により、世界で初めて失活しやすい抗酸化成分のレチノールをマイクロニードル内に安定化させて高配合し、肌の角質層に高浸透させることに成功した。

また、DEN製法は金型を使わずに成形するため、貼る部位に合わせてニードルの長さやパッチの形状などを自由に設計することが可能だ。

昨年4月には、韓国本社（ラパスコリア）にあるFDA登録施設の医薬品工場で製造したマイクロニードルが、アメリカで「世界初のマイクロニードルOTC医薬品」として発売された。そして、昨年9月にはラパスジャパンが「第二種医薬品製造販売業許可」を取得し、それと同時にFDAの登録施設である韓国の医薬品工場が外国製造業者として認定され、日本向けにアレンジした独自の医薬品開発が可能になった。

「医薬品の溶解性マイクロニードルODMが我々の強みだ。先日、ラスベガスで開催されたコスモプロフに初出展した。海外への輸出も引き続き注力していく」（権氏）　（之）

（禁無断転載）©R
本紙の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、堅く禁じられております。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構（JCOPY）（03-3513-6969）まで必ずご連絡下さい。